

行財政改革について

鶴崎 敏彦

スフォーメーションを進めた「ソサエティー5・0における学校が間もなく到来する。」とあり、今後も国際情勢や文科省の情報等に目を配りながら、大町に合ったソサエティー5・0に向けた取り組みを模索していきます。

⑤令和3年度の超過勤務時間の平均は、小学部が36時間、中学部が38時間となり、月別では4月、小学部は50時間、中学部は54時間。5月、小学部45時間、中学部40時間。6月、小学部51時間、中学部56時間。8月が一番少なく、小・中学部とも9時間でした。

学校では定時退勤日を設定したり、毎週水曜日を4時間授業にし、午後を教材研究や各種会議の時間とするなどの取り組みを行っています。しかしながら、月によって45時間を超えるときがあり、校務分掌事務の内容精選やICT機器の有効活用等、改善策を引き続き学校とともに検討していきます。

行財政改革について

鶴崎 敏彦

①今後、大型事業が見込まれているが、行財政改革が必要だと考えるが、行財政改革大綱の策定はされるのか質問します。

②少子高齢化が進む中、また人口が激減している現状を考えると、行政区の見直しが必要だと考えるが、見直す考えはないか質問します。

③業務の効率化や、経費の削減といった面で大きな効果が見込まれる、給食センターの民間委託は考えられないか質問します。

町長 ①大町町の行財政改革大綱につきましては、平成17年から平成21年までの5か年を集中期間として策定されていました。

しかし、現在の地方自治体を取り巻く情勢は当時とは全く違った状況にあり、現時点において行財政改革大綱などを策定することは考えていません。

②現在、見直しの時期と

は考えていませんが、地域コミュニティの維持を心配する複数の地区の人から隣接する行政区との合併の意向も聞いたこともあり、適時、区長の意見も聞きながら、可能性を探っていくことも視野に入れていきたいと思えます。

③食の安全・安心を考えると町が関わっておくことがより良い形だと思っており、給食センターの民間委託は現時点では考えていません。

教育行政について

三根 和之

町長 ①令和4年度教育基本方針についてお尋ねします。昨年度からの変更箇所は、どの項目ですか。そして、教育長が今年度において特に実施されたい項目がありましたら教えてください。

また、体育の大町型授業とは、どのような学習方法を示すかお聞かせください。

②令和元年度12月に実施した、まち塾におけるアン

ケート調査を受けて、令和4年度はどのように改善して実施されるのですか。

③佐賀新聞社主催で、さが未来発見塾が開かれています。この塾では、大町町の中学生が地元の町の未来計画づくりとして、おまちスマイルプランを提言されています。このプランを町政にどのように反映していくのですか。

また、子どもの意見を反映させる場を設けるなどの計画はありますか。

教育長 ①昨年度から変更したところは、一つ目はひじり学園が、県の小中連携による学校向上推進地域に指定されたことを受け、二か年かけ研究事業などに取り組むことなどに関する加除修正を行っています。

二つ目は、立志共育について入れております。特に私が進めたい教育です。

三つ目は令和6年度に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の機運醸成等についてで

す。また、社会教育での感染症対策に触れています。

大町型授業は、それぞれの児童・生徒の一人ひとり実態からスタートし、学び方も身に付けることができ、学習のことを体育の大町型授業と位置付けています。

②教育委員会では、より有意義で参加しやすい学習会にするために、今年度もアンケート調査を取り、保護者や子どもの意見を聞きながら改善できるところは取り組みたいと考えています。

③さが未来発見塾に参加した塾生たちは、町内で活躍する人たちの話を聞き、町が持つ魅力や課題を勉強し、大町町の未来を見据え、その提案は夢物語ではなく実現可能なものになっていました。

私は一生懸命考えてくれたせつかくの提案を無にしなくありませんので、さつそく関係各課と情報を共有し、できるもの、できないもの、各課が行っている行